

## 大崎が悲願の初優勝、女王広島は7連覇達成

~第29回 日本ハンドボールリーグANA CUPプレーオフ~



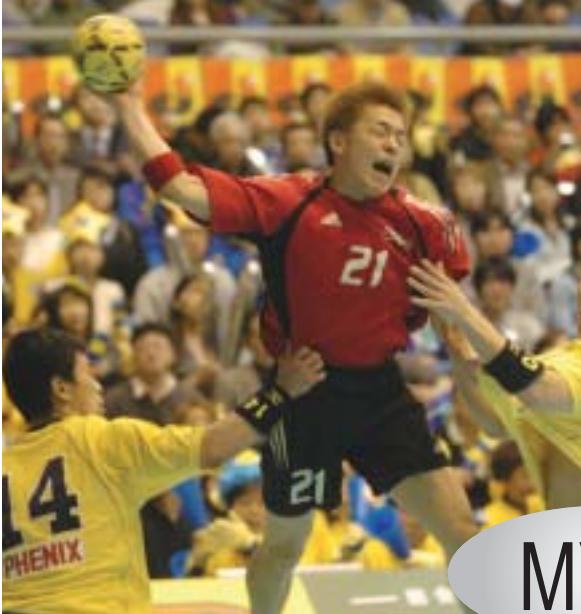
④初優勝を飾った大崎電気・中川④未踏の7連覇に輝いた広島メイプルレッズ・林

第29回日本ハンドボールリーグ『ANA CUP』プレーオフは、3月19日、20日の両日、東京・駒沢体育館で行われ、男子はレギュラーシーズン1位の大崎電気が悲願の初優勝、女子は同じくレギュラーシーズン1位の広島メイプルレッズが燐然と輝く7連覇を果たした。

今回より、従来のレギュラーシーズン上位3チームによる争いから上位4チームでの争いとなった男子は、19日の準決勝とともに僅差で勝ちあがった大崎電気と大同特殊鋼との決勝対決。前半は大崎・濱口、大同・高木の両GKの好守をベースに、双方のディフェンスが機能して締まったゲーム展開。ともに譲らず10-10のイーブンで後半に入った。一進一退が続いた後の後半8分過ぎから大崎が宮崎、岩本、猪妻の3連打で16-13と3点リード。創部40周年のシーズンを優勝で締めくくりたい大同も大黒柱・白元皓や新鋭・末松で4度、2点差に迫ったが、悲願達成に一丸となり、落ち着いて試合を進めた大崎が終盤のだめ押しゴールでリードを広げ、28-24の4点差でタイムアップ。大崎電気は悲願の初優勝を果たし、MVPにはスピード、躍動感あふれるプレーで観客を魅了した宮崎が選ばれた。

女子は7連覇をめざす広島メイプルレッズが、準決勝でソニーセミコンダクタ九州（レギュラーシーズン3位）に大逆転勝ちしたオムロン（同2位）の挑戦を受けた。チャレンジャーらしく先手をとって女王にプレッシャーをかけたかったオムロンだが、レギュラーシーズン最優秀選手の金鎮順に代わって林五卿監督自らがコートに立った広島メイプルレッズの執念、そして百戦錬磨のキャリアに押され、ミスを広島・大前らの速攻につなげられる苦しい展開。前半20分には13-6と広島が大量7点リードを奪った。後半に入ってようやく落ち着きを取り戻し、本来の手堅い守りから攻撃に転ずるリズムをつかんだオムロンは、洪延昊や坂元を軸に猛反撃。後半16分、いったんは22-21と逆転に成功したが、一瞬のスキも逃がさない広島は看板の呉成玉らで再逆転。これまででもっとも苦しいファイナルを28-27の1点差でクリアし、7年連続8回目の優勝を成し遂げた。MVPは要所での速攻が光った大前が前回に続いて獲得した。なお、男女の優勝チームは、4月初旬に中国北京で開催される第2回東アジアクラブ選手権に出場する。

男子・宮崎  
大輔(大崎電気)



女子・大前  
典子(大同特殊鋼)



MVP

### 男女準決勝 大崎、大同が辛勝！ オムロンは奇跡の大逆転!!

男子準決勝は、大崎電気がホンダに29 - 27、大同特殊鋼も湧永製薬に28 - 27で競り勝ち、レギュラーシーズンの1、2位がそれぞれチャレンジャーを退けて決勝の舞台へ駆け上った。

大崎電気 - ホンダ戦は、岩本のミドル、永島の速攻などで好スタートを切った大崎電気に対し、ホンダも谷口の速攻、加藤のステップで応戦。その後も激しい主導権争いを展開して14 - 13と大崎1点のリードで前半を折り返した。後半開始早々、エース宮崎のカットインからペースをつかんだ大崎電気は、岩本のステップ、中川ミドルなどで9分20 - 15と5点リード。一方のホンダも前回王者の意地を見せて必死の食い下がりをみせ、四方、吉井のG Kコンビの好セーブで失点を阻む一方、阿部、野嶋のサイド、河瀬のポストなどで20分23 - 24と1点差まで肉薄した。しかし、ここから大崎電気は宮崎が鮮やかなシュートを連発、小倉らで懸命に追いつがるホンダの追撃ムードに水を差し、最後は東のポストシュートでダメを押した。

大同特殊鋼 - 湧永製薬も1点を争う大激戦。前半ペースを握ったのは大同特殊鋼で手堅いディフェンスから攻撃リズムをつかみ、松林のポストや末松の確実な7mTで前半20分12 - 4と水をあけ、このあと小沢のロングや山口の速攻で挽回を図る湧永製薬に15 - 10と5点差をつけて前半を折り返した。後半に入ると湧永製薬が下川の速攻などで反撃、G K坪根の好セーブもあり6分13 - 15と2点差に詰め寄った。その後は末松のミドルなどで加点する大同特殊鋼に対し、湧永製薬も小沢のサイド、小藪の速攻などで応戦、後半19分ついに16 - 16の同点となり、両者の気迫あふれる攻防にスタンドがわいた。一進一退の展開は最後まで続いた。そして、残り10秒28 - 27と大同1点リードの場面で湧永・下川のノーマーク速攻を大同・高木がシャットアウト。劇的な幕切れで大同特殊鋼が2年連続の決勝進出を果たした。

女子準決勝は富田の7mTで先制したオムロンが、その後も坂元の速攻、劉晋淑、洪延昊の多彩な攻撃などで前半16分10 - 4と先行した。これに対しソニーセミコンダクタ九州はオムロンの韓国コンビにダブルマンツーをあてて徹底マーク、田中の速攻などで追撃を開始した。10 - 13と3点差まで追い上げた勢いを後半に持ち込んだソニーセミコンダクタ九州は、スピードに乗った展開から郭惠静、高栖らで加点して後半10分17 - 17の同点、その後も田中の好配球を起点に水田、山田早らでたたみかけ、後半25分26 - 21と5点リードを奪って勝利をつかんだかにみえた。しかし、ここからとんでもないドラマが待っていた。オムロンは佐久川の鬼気迫るかのような連打で猛追、29分9秒には富田の7mTで26 - 26の同点に追いつくと、残り12秒、安心院の突進ブレーから7mTをゲット、これを再び富田がゴールインして大逆転で決勝進出を果たした。ブレーオフ初出場のソニーセミコンダクタ九州は勝利を目前にしながら終盤ペースを崩して悪夢の逆転負け、連続退場がオムロン逆襲の呼び水になるなど大舞台での経験不足を露呈する格好となった。



男子2位の大同特殊鋼・白



男子3位の湧永製薬・下川



男子4位のホンダ・横地



④女子2位のオムロン・洪  
⑤女子3位のソニー・田中

3月19日(土) 女子準決勝 東京・駒沢体育館										3月19日(土) 男子準決勝 東京・駒沢体育館									
オムロン 27 ( 13 - 10 ) リーグ2位										ヨーロッパ 26 ( 14 - 16 ) リーグ3位									
<1/6> K 勝 田 郭惠静 0/ 安心院 長野 0/ 木 石 山田千 0/ 西 本 田 中 7/11 5/1 佐久川 草 留 3/ 佐久川 山田早 4/ 板 元 水 田 0/ 屋 嘉 高 栖 0/ 細 木 出 間 K 藤 間 飛 田 K <3/7> 2/ 水 野 鶴 野 1/ 3 0/ 善 田 寺 田 0/ 0 3/ 洪 延 吳 中 島 K <1/4> 3/ 劉 晋 淑 野 口 0/ 0										タ九州 29 ( 14 - 13 ) リーグ1位									
7/11 20/39 7(FPP)11 審判(浜田・笠原) 観客 1025人										ホンダ 27 ( 15 - 14 ) リーグ4位									
3月19日(土) 男子準決勝 東京・駒沢体育館										3月20日(日) 男子入れ替え戦 東京・駒沢体育館									
大同特殊鋼 28 ( 15 - 10 ) リーグ2位										湧永製薬 27 ( 13 - 17 ) リーグ3位									
<1/4> K 萩 田 下 川 4/ 7 7/ 松 林 浜 本 1/ 1 0/ 南 川 山 中 0/ 0 0/ 峯 村 福 田 0/ 0 0/ 中 谷 吉 田 0/ 0 0/ 市 小 数 2/ 7 1/1 3/ 大 田 東 2/ 5 <0/1> K 日 原 坪 根 K <1/7> 2/ 渡 遺 小 沢 8/11 3/3 <1/2> K 高 木 杉 山 0/ 0 0/ 山 松 村 K <0/1> 5/10 白 元 詰 古 家 3/ 7 6/6 3/ 未 松 山 口 2/ 3										ホンダ 28 ( 12 - 10 ) リーグ7位									
7/8 21/35 11(FPP)9 審判(家永・福島) 観客 1298人										北陸電力 26 ( 9 - 11 ) 2部1位									
3月20日(日) 女子決勝 東京・駒沢体育館										3月20日(日) 男子決勝 東京・駒沢体育館									
広島メイプル 28 ( 16 - 10 ) リーグ1位										オムロン 27 ( 12 - 17 ) リーグ2位									
<0/2> K 高 森 勝 田 K <2/6> 0/ 丘 屋 安心院 0/ 0 0/ 樹 山 大 石 0/ 0 2/ 青 戸 西 本 0/ 0 8/10 大 前 富 田 4/ 6 4/6 3/ 沢 本 佐久川 5/ 7 3/4 3/ 林 五 井 坂 元 6/ 8 0/ 菊 野 屋 嘉 0/ 0 1/2 0/ 塚 井 藤 間 K 3/ 崇 成 玉 水 野 0/ 0 0/ 坂 口 吉 田 0/ 0 <3/5> K 浅 井 洪 延 吳 7/10 5/ 杉 本 東 濟 0/ 3 0/ 丘 山 許 順 栄 1/ 3										大崎電気 28 ( 10 - 10 ) リーグ1位									
4/6 24/41 10(FPP)15 審判(仲田・植村) 観客 1397人										大同特殊鋼 24 ( 18 - 14 ) リーグ2位									
6/9 22/40 18(FPP)13 審判(ナホエスキーナホエスキ) 観客 2412人										6/9 22/40 18(FPP)13 審判(ナホエスキーナホエスキ) 観客 2412人									

### ホンダ熊本が辛くも1部残留 男子入れ替え戦

ホンダ熊本(1部7位) - 北陸電力(2部1位)で争われた男子入れ替え戦。1部最下位ながら5勝をマークしたホンダ熊本優位は動かないかにみえたが、何が起こるか分からないのが入れ替え戦。ましてや一発勝負でありエース譚崇聖を出場停止(レギュラーシーズン最終戦で失格)で欠くホンダ熊本が大苦戦を強いられた。

前半立ち上がり、佐伯の速攻などで4連取したホンダ熊本が、そのまま主導権をキープして12-10でUターン。これに対し北陸電力は後半5分過ぎから前田のゴールに端を発して10分までに5連取、逆に16-14と2点リードを奪うと、その後も杉山らで加点して有利に試合を進めた。20分19-21と劣勢に立たされたホンダ熊本は、ここからGK藤田の好セーブでピンチをしのいで落ち着きを取り戻し、終盤に入って上田、佐伯の活躍で同点に追いつき延長に突入。延長に入ると、前半の3点リードを必死に守り抜き、2点差で辛くも1部に踏みとどまった。

### 【個人表彰】

男子1部		初
宮崎	大輔(大崎電気)	初
首藤	信一(大崎電気)	初
白元	元詰(大同特殊鋼)	初
吳譚	崇聖(ホンダ熊本)	135点
松林	克明(大同特殊鋼)	129点
吳田	相民(アラコ九州)	0.797
藤崎	功一(ホンダ熊本)	41点
宮崎	大輔(大崎電気)	0.350
大崎	大輔(大崎電気)	初
首藤	信一(大崎電気)	初
白元	元詰(ホンダ熊本)	5回目
吳譚	崇聖(ホンダ熊本)	4回目
松林	克明(ホンダ熊本)	4回目
吳田	相民(ホンダ熊本)	初
藤崎	功一(ホンダ熊本)	初
宮崎	大輔(大崎電気)	初
大崎	大輔(大崎電気)	初
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎	大輔(ホンダ)	3回目
首藤	信一(ホンダ)	3回目
白元	元詰(ホンダ)	3回目
吳譚	崇聖(ホンダ)	3回目
松林	克明(ホンダ)	3回目
吳田	相民(ホンダ)	3回目
藤崎	功一(ホンダ)	3回目
宮崎	大輔(ホンダ)	3回目
大崎</		

第29回日本ハンドボールリーグ成績表 レギュラーシーズン日程終了 3月6日

順位	1部男子	大崎電気	大同特殊鋼	湧永製薬	ホンダ	トヨタ車体	アラコ九州	ホンダ熊本	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気	30 26 26	25 19 20	26 30 33	29 28 30	32 28 31	28 29 33	18	14	1	3	29	503	454	49	
2	大同特殊鋼	20 24 25		26 18 27	27 21 29	37 27 23	28 36 26	27 31 31	18	11	2	5	24	483	437	46
3	湧永製薬	24 26 31	20 18 28		15 25 17	23 21 22	29 23 25	28 27 20	18	8	3	7	19	422	397	25
4	ホンダ	26 22 27	26 17 18	19 21 17		26 23 30	27 25 27	23 21 32	18	7	3	8	17	427	436	-9
5	トヨタ車体	19 27 21	21 30 22	23 25 21	19 23 24		29 24 27	29 25 26	18	6	2	10	14	435	464	-29
6	アラコ九州	29 26 23	28 28 24	20 24 17	29 18 26	21 20 31		22 29 33	18	6	1	11	13	448	494	-46
7	ホンダ熊本	26 34 24	23 27 25	30 22 23	18 25 31	25 28 20	21 28 28		18	5	0	13	10	458	494	-36

上位4チームはプレーオフで順位を決定する。

順位	1部女子	メイフルレッスン	オムロン	ソニー	北国銀行	H C 名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	広島メイフルレッスン	28 21 20	33 34 42	30 30 21	35 29 30	12	10	0	2	20	353	294	59	
2	オムロン	23 17 26		30 30 35	29 19 24	31 26 35	12	10	0	2	20	325	244	81
3	ソニー・セミコンダクタ九州	35 24 31	22 24 21		20 25 32	25 31 35	12	6	0	6	12	325	343	-18
4	北国銀行	22 20 20	19 17 19	25 23 22		21 25 19	12	3	1	8	7	252	285	-33
5	H C 名古屋	29 23 24	16 22 15	23 21 25	20 16 19		12	0	1	11	1	253	342	-89

上位3チームはプレーオフで順位を決定する。1 - 2位は対戦間勝ち点による。

順位	2部男子	北陸電力	H C 東京	トヨタ自動車	豊田合成	大阪ガス	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北陸電力	29 24 25	33 28 31	36 35 31	33 29 35	12	12	0	0	24	369	224	145	
2	H C 東京	26 23 21		26 20 31	37 25 29	39 32 23	12	9	0	3	18	332	232	100
3	トヨタ自動車	17 13 12	10 15 24		29 38 27	29 26 24	12	5	1	6	11	264	299	-35
4	豊田合成	23 18 19	13 22 21	20 24 27		30 25 29	12	2	1	9	5	271	363	-92
5	大阪ガス	19 17 16	13 17 19	23 20 16	26 30 20		12	1	0	11	2	236	354	-118